

スマホでおしゃれな写真が撮れる

アート・フォト・NARITA で審査員を務めてくださっている弘海和良さんに講師をお願いし、3月に「スマホで写真教室」を開催しました。

15日(日)には、会議室Dでグリッド線、モードの選択、露出の設定、ピントの固定など、おすすめの設定で実際にスマホを操作しながら、説明していききました。写真を見ながら、被写体をどの位置に持ってくるかなどの視点や構図についても学び、シクラメンの鉢を実際に撮影してみました。



29日(日)には、公津の杜公園を訪れ、前回学んだ設定を復習しつつ、桜の撮影を行いました。公園内を移動しながら、構図を考え、逆光をうまく使い撮影したり、水面を写す構図を学んだりし、桜の撮影を楽しみました。

学生ならではのエネルギー溢れる音楽

3月20日(金・祝)、MORI×MORI ホールでは、2回目となる「学生バンドフェスティバル」を開催し、6校15組のバンドがエントリーしました。ただ季節柄なのか体調不良者が続出し、4組が欠場となってしまいました。それでも11組47人がステージに立ち、日頃の練習の成果を発表しました。

高校生とは思えないテクニックをみせる生徒がいたり、荒削りながらも気持ちのこもった演奏をする生徒がいたり、楽しさを音だけでなく体を使って表現する生徒がいたり、様々な音楽スタイルが見られるのは学生ならではの醍醐味。

出番ではない時は、他校のバンドであっても観客としてステージ前に立ち、盛り上がり、音楽を通じて交流が生まれるのは、主催者側として、大変喜ばしいことです。



展示と音楽を通して成田と被災地をつなぎ、復興を願う

2月26日から3月11日まで、「復興支援 week.2026」を開催しました。期間中、ギャラリーでは福島や能登など被災地の復興パネルや観光案内を展示・設置した他、成田市役所派遣職員の報告や成田赤十字病院の活動の展示など被災地と成田をつなぐ展示を行いました。また、復興への願いをこめた写経体験も行われました。

3月1日には、ホールで「杜の音楽祭」を開催し、幼稚園児から大人まで総勢69組の地域音楽家が出演し、演奏しました。



3月7日には、ホールで「光りのとびら」を開催し、3組のミュージシャンが復興の願いを演奏にこめて披露しました。この期間、集まった募金は合計404,551円で、いわて学び基金および能登町に募金いたしました。

ランニングフォームの大切さを学ぶ

5月16日、公津の杜小学校の体育館で「Let's go running」が行われました。

走る際、フォームが崩れると力が正しく伝わらず、タイムロスが生まれてしまいます。正しいフォームで走ることで、スピードアップが見込まれます。運動会といえば、体育の日がある10月10日前後に行われていたのは、ひと昔。体育の日はスポーツの日に変わり、暑さ対策で5月に行う学校も増えています。このため、ゴールデンウィーク明けのこの時期に開催をはじめ、今回で5回目となりました。

講師は陸上経験者の当館職員が務め、保護者2名を含む24名が指導を受け、走り方の基礎を学びました。フォームのよくなった参加者が多く見受けられました。



年間通じての催しを多数開催！

公津の杜コミュニティセンターでは年間を通じて開催する催し物がいくつかあります。年度ごとに計画し実施していますが、なかには年度をこえて継続している催し物もあります。

第1土曜日には、「むりょう塾」を開催し、諸事情で学校での勉強ができなかったり、普通の塾に行くのがむずかしかったりする小中高生に「わかる勉強の機会を」と考えて企画されたボランティアの先生方が指導してくれます。

第1・第3土曜日には、「将棋開放」を行っています。初心者でも経験者でも自由に将棋をさすことができます。対戦することにより、老若男女の棋士同士が交流できる場を提供しています。

同じ第1・第3土曜日の「杜の少年少女合唱団」では、子どもたちが歌うこと、表現することにより心を育み、ハーモニーで人とつながることの大切さを指導しています。

第1木曜日には、「みどり育てる」を開催しています。屋上庭園や駐車場の花壇で花や野菜を育て、命の大切さ、作物を作る苦労や喜びを体験してもらっています。

第2金曜日には「もりんぴあ合唱部」を開催。こちらは大人の合唱活動で、歌うことは美容効果や認知症予防につながると言われており、運動の代替えとしての効果も期待できます。

第3日曜日には、「KOZU-KIDS チャレンジランキング」を開催し、子どもたちが5種類の競技で競い合います。学年による有利不利がないような競技のため、毎回白熱したトップ争いになります。

第4金曜日には、「大人お散歩倶楽部」を開催。もりんぴあまでお散歩しに来てもらうことをコンセプトに、軽い運動をしたり、歌を歌ったり、ミニコンサートを鑑賞したりします。

第4土曜日には、「おもちゃクリニック」を開院。パーツが必要になった場合、実費がかかることもありますが、基本無料にておもちゃの修理を行います。処分する前に一度ドクターにご相談ください。

どの催し物も年度の途中から参加可能で、申込不要で自由参加のものもあります。一部日程が変更になっている月もあるため、受付にご確認ください。

図書館だより

<新しい雑誌をご紹介します>

4月より次の雑誌3誌が新しく入りました。どうぞご利用ください。

『ROCKIN'ON JAPAN』 ロッキング・オン 月刊
国内のミュージシャンのインタビューなどを掲載する音楽雑誌。

『鉄道ファン』 交友社 月刊
鉄道愛好家向けに、写真とイラストなど豊富なビジュアルで最新情報を紹介。

『BRUTUS』 マガジンハウス 月2回刊
幸せなライフデザインのために、価値判断のスタンダードを提供する我流生き方マガジン。



イタリア芸術をより身近に！

5月3日から17日まで、2階ギャラリーMORI×MORIでは、「Doppio Sestetto Narita 2026」を開催し、イタリア人作家6人と日本人作家6人の作品を展示しました。

初日の5月3日には、イタリアから作家4人が訪れ、日本人作家6人とともにオープニングレセプション実施し、作品に対する意見交換を行うなど、交流を深めました。



吹き抜けに多数のこいのぼり

3月1日から4月26日まで募集していた「こいのぼりぬり絵コンテスト」の応募作品を吹き抜け部分に飾りました。

どのこいのぼりも個性にあふれ、同じものはひとつとしてありません。定番の色でぬる子、枠にとらわれず書き足す子など様々でした。

5月2日には、362匹の中から選ばれた、入賞者に賞状と副賞が送られました。



なかよしひろばだより

4月からのなかよしひろ

9:00～16:30まで1日利用できるようになりました。ひろばでゆったりと過ごす姿が多くみられるようになり、持参したお食事やおやつを食べたり、長時間利用される方も増えています。特に、平日は混み合う日も少ないので、のびのび遊んでいます。

また、「利用者支援事業」が始まり、スタッフが相談員として困りごとや心配事を聴いて、多様な子育て支援サービスを紹介したり、皆さんとお話ししながら一緒に考えたりできるようになりました。どんなことでもお話してくださいね。

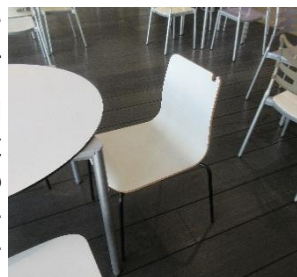
平日の10:45頃～は「お楽しみタイム」として、利用者さんたちと絵本を読んだり、歌をうたって楽しんでいます。また、パネルシアターやふれあい遊びなどを楽しむ「もっと！お楽しみタイム」「ホリデーお楽しみタイム」を不定期で開催し、季節を感じたり、ふれあいの時間になっています。

普段のなかよしひろばにお気軽に立ち寄ってください！



おまけの1枚

開館から丸13年が経とうとしています。大事に使っていても経年により劣化するものもあります。サロンの椅子もそのひとつ。座面が割れて危険だったため、いくつか撤去していましたが、この度新しいものに交換しました。備品や設備に不具合があった際は、すみやかに申し出ください。



編集後記

25年推してきたバンドがある。近年、チケットが取れない。FCに入っているのに、チャンスは多いのに…。転売防止の強化や、某番組で興味を持つ人が増えたのが要因。そんな時、フェスで見た別のバンドに心奪われた。先日のライブでは正面の1桁列目これは推し変があるかもしれない(笑)(K)

皆さんは、シール帳の再ブームから、「お菓子帳」へ遊びが進化・転換しつつあるのをご存じですか？娘が、甥と姪に向けて、駄菓子や個包装のお菓子をノートに貼り、お菓子帳をプレゼント！兄妹で交換したり見せたりする遊びを期待していたけどその期待は瞬殺。各自で即完成！(笑)流行るのか？(T)

公津の杜コミュニティセンター
(指定管理者 アクティオ株式会社)
発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <https://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
こうづ
MorinpiaKozu